

ら い ふ

松下記念病院

vol.23
2013
秋号



診療科
見学note

小児科部

特集

医療連携センター
～シリーズ③ 渉外業務～

■ MATSUSHITA REPORT
4西病棟(産婦人科)の新しいサービス

■ 松下記念病院
ボランティア活動

地域の二次医療機関として ”日常的な”疾患から専門性の高い疾患の診療にも努力しています

当科の診療・特徴

■ 一般的な疾患

当科は常勤医師5名、非常勤医師8名の体制で診療を行っています。門真・守口市を中心とした地域の二次医療を担う病院として、一般感染症、てんかんなどの神経疾患、食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・気管支喘息アレルギー疾患、ネフローゼ症候群・各種糸球体腎炎などの腎疾患、またリスクのある分娩を扱う産婦人科と協力の上、新生児・未熟児疾患を診療しています。

■ 専門的な疾患

特に専門性の高い分野は、関連大学の専門医の先生方にお願ひし専門性の高い医療をめざしています。これらにより、”日常的な”疾患から専門的な疾患まで幅広く診療できるよう努めています。

血液疾患の診療

当科は伝統的に血液疾患の診療に力を注いでおり、民間病院ではいち早く骨髄移植は1988年に第1例を実施しています。

血小板減少性紫斑病・再生不良性貧血・白血病やリンパ腫などの良性・悪性疾患血液疾患の診断・治療が可能で、現在も血液専門医である小児科医2名が中心になり診療を行っています。

■ 同種造血細胞移植

血液疾患では最終治療となる同種造血細胞移植は現在までに延べ113例の同種移植を行っており、血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植、HLA半合致移植、非血縁者間骨髄移植、臍帯血移植のさまざまなタイプの移植を行っています。また、成人の血液科と連携し、思春期～若年成人の方の血液疾患を年齢の切れ目がなく診療できるように取り組んでいます。



中谷 北村 内藤（拓）
石田 内藤（岳）

スタッフ紹介

部長 いしだ ひろゆき
石田 宏之
小児科専門医・指導医、血液専門医・指導医
小児血液・がん学会暫定指導医
骨髄移植財団調整医師
インфекション・コントロール・ドクター
PLAS Provider
日本小児血液・がん学会評議員
日本造血細胞移植学会評議員
京都府立医科大学特任准教授

副部長 ないとう たけし
内藤 岳史
小児科専門医、小児神経専門医

主任 なかたに たくや
中谷 拓也
小児科専門医、血液専門医
がん治療認定医、PALS Provider

医師 きたむら あやか
北村 綾香

医師 ないとう たくと
内藤 拓人

常勤医が担当している神経、腎臓領域の疾患も診療させて頂く機会が増えており、こちらも気軽にご相談ください。

小児救急医療体制

小児科医員確保が不安定でご迷惑をおかけしていますが、平日は21時まで、毎週土曜日の午前8時から翌曜日の17時までは、小児救急患者さまや近隣の先生方のご紹介を受け入れています。



未熟児室



アレルギー外来

地域の二次病院として、より幅広く救急疾患や専門性の高い疾患を診療できるよう今後も努力してまいります。血液・神経・腎臓疾患や原因のよく分からない病状などの際には、ぜひ一度ご相談ください。

外来担当表

小 児 科						
		月	火	水	木	金
午前	1診	石田	中谷	北村	内藤(岳)	石田
	2診	内藤(岳)	担当医	吉原* (アレルギー専門医)	担当医	中谷
午後	1診	(第1・3・5) 今村* (血液専門医) (血液)	内藤(岳) (小児神経専門医) (神経)	浅田* (循環器)	西田* (腎臓専門医) /北村 (腎臓)	(第1) 中島* (内分泌)
		(第2・4) 中谷 (血液専門医) (血液)				(第3) 衣笠* (内分泌)
	2診	石田 (血液専門医) (血液)	清水* (アレルギー)	(第1・3・5) 北村 (アレルギー) (第2・4) 中谷 (アレルギー)	瑞木* (予防接種)	清水* (乳児健診)

*印は非常勤

診療実績 (最近3年間の平均)

入院患者数：613人／年
(未熟児・病的新生児 43人／年)

最近の3年間でみた主な入院患者疾患(数字は年平均)

1) 感染症

肺炎・気管支炎：116
RSウイルス感染症：71
インフルエンザ：25
リンパ節炎：7
髄膜炎：5
深頸部膿瘍：2
菌血症：8

2) 消化器疾患

感染性腸炎：42
腸重積：3
その他、消化管ポリープ、胃潰瘍、潰瘍性大腸炎、胆道拡張症、肝膿瘍、肥厚性幽門狭窄症など

3) 神経疾患

けいれん性疾患（熱性痙攣・軽症胃腸炎に伴うけいれんなど）：30
てんかん：7

4) アレルギー疾患、膠原病(その近縁疾患)・免疫不全

気管支喘息・喘息性気管支炎：30
川崎病：12
アレルギー性紫斑病：6
アナフィラキシー：4
その他、リウマチ性疾患（若年性特発性関節炎、全身性エリテマトーデス）、免疫不全（無ガンマグロブリン血症、重症複合型免疫不全症など）

5) 腎疾患

上部尿路感染症：4
ネフローゼ症候群：2
糸球体腎炎：2

6) 血液

白血病：3
特発性血小板減少性紫斑病：3
その他、悪性リンパ腫、再生不良性貧血、溶血性貧血、血球貪食症候群など
同種造血細胞移植：4例

7) 代謝・内分泌疾患

糖尿病、クレチン症など

8) その他

異物誤飲：3

9) 未熟児・新生児疾患

早産児・低出生体重児・新生児一過性多呼吸・新生児仮死など

～当院を深く理解いただき安心して患者さまを紹介して
いただけるような環境づくりに取り組んでいます～

訪問活動（橋渡しと調整）

地域医療連携において医療機関との信頼関係や繋がりはとても重要です。患者さまが安心して受診できるように医療機関を訪問し、要望やご意見など「かかりつけ医」の先生方の生の声をおうかがいしています。これまでに「診察なしで大腸内視鏡検査だけの予約ができないか?」「時間外の放射線検査の予約は可能か?」などの声に対し、院内で診療科や検査部門と調整を図りご要望を実現化してきました。また、連携を深めるため「登録医」への登録の協力をお願いし、患者さまが地域で「二人の主治医」が持てるような環境作りに努めています。

今年は登録医に対してアンケート調査を実施し、今後の業務改善に役立てています。

【主な取組み】

- 登録医制度の推進（登録医増加による連携体制の充実）
- 医療機関訪問による広報活動（院内情報の提供）
- 医師同行による医療機関訪問（医師同士の連携強化）
- 医療機関の当院への要望、意見の聞き取り（アンケート調査を含む）

以上の取組みを行うことにより、患者さまが安心して「二人の主治医」のもと状況に応じて適切な医療機関を受けられる環境づくりに努めています。



医療機関訪問（橋クリニック-門真）

研修会活動

当院は地域医療支援病院として地域医療従事者の質の向上に貢献するため、積極的に研修活動に取り組み、医師だけでなく、看護師、その他メディカルスタッフの職種別の研修会など、開催しています。さらに、昨年からは薬剤師による地域調剤薬局との勉強会なども発足しました。

医療連携センターでは、地域の医療従事者との交流により、患者さまに少しでも満足していただけるような医療の質の向上をめざし、これらの研修会活動を支援しています。

【昨年当院が開催した主な講演会・研修会】

- 緩和ケア研修会（医師・看護師・メディカルスタッフなど）
- 医療安全研修会（医療従事者）
- 地域D I 研修会（薬剤師）
- 守口・門真放射線技師連絡会研修会（診療放射線技師）

このほかにも多数の講演会・研修会を開催して地域医療の質の向上に貢献しています。



がん医療研修会

医師会、関連機関との連携活動

地域医療を進めていく際、地域の医療機関・関連機関では多くの問題を抱えています。課題のひとつとして「在宅医療の推進」があげられます。これらは一施設では解決しきれない問題です。このような問題は地域医療機関の連携が必須であるため、病院・地域医師会・関係機関の会議の場で取りあげ解決策を検討しています。

当院は、外部の主たる会議に参加し、問題の共同解決に努めています。

また、医師会や行政等の代表者に当院主催の会議に参加いただいて、積極的な意思交換を行い、地域で望まれる病院運営をめざして取り組んでいます。



門真市医師会懇話会

広報活動

年4回の季刊誌を発行し、医療連携センターの取組みや各診療科のお知らせ・研修会の案内等、タイムリーな院内情報を提供しています。

また年1回発行する「医療連携のご案内」には、当院の診療体制、医師別の専門分野、各科の治療実績、スタッフの紹介などを掲載しています。かかりつけ医の先生方には患者さまを紹介される際にご活用いただいています。



医療連携センターだより

院内行事への協力

当院は市民健康セミナーを年5回、院内コンサートを年2回開催しています。これらの行事を通じて、受診以外では利用の少ない地域の皆さまが健康や病気についての知識を深めたり、病院職員とのコミュニケーションを図ったりしていただいています。医療連携センターは各種院内行事の参加受付窓口として協力しています。

各行事開催の案内は病院ホームページ等でお知らせしています。ぜひご利用ください。



2012年クリスマスコンサート



2013年七夕コンサート

お問合せ先

医療連携センター

平日 8:30~20:00

TEL: 06-6992-5373 (直通)

FAX: 06-6992-6697 (専用)

4 西病棟(産婦人科)の新しいサービス

”お母さまになられる妊婦さまと大切なお子さまのために
最善を尽くす努力をつづけています”

お部屋

産 婦人科病棟には4人部屋、2人部屋、個室、特別室があり、いずれもプライバシーに配慮しています。母児同室制度を導入して、2人部屋、個室、特別室で対応していますのでお気軽にご相談ください。また、看護師の目の届きにくい母児同室のお子さまにつきましては、ベビーセンス（無呼吸監視モニタ）により呼吸監視を行っています。ご安心ください。

産科食・祝い膳の見直し

産 後の栄養バランスを考えた献立を心がけ、よりおいしく喜んで食べていただけるよう産科食を工夫しました。さらに捕食（おやつ）の追加、祝い膳のケータリングサービスを導入しました。

●補食（おやつ）

夜間の補食は、22時、1時の授乳後に追加し、3時間毎の授乳による空腹感軽減につながるようにしました。



陣痛室



4人部屋



祝い膳

●祝い膳のケータリング（宅配）サービス

祝い膳については、松花堂弁当スタイルのケータリングサービスを2013年7月末よりスタートしました。ホテル・アゴーラ大阪守口のスタッフがお部屋までお届けいたします。



3D/4D画像

核家族化が進行し身近に育児の相談を出来る人が減り、育児に不安を抱いている人も少なくありません。

このような状況を踏まえ、当院で分娩を希望される妊産婦さんに、より快適な入院生活を送り、退院後も安心して育児ができるように日々対応しております。常にサービスの向上をめざしており、患者満足度調査結果や、他病院のサービスを参考に、新しい取り組みを開始しました。



ベビーマッサージクラス



ママと一緒につま先のマッサージ

ベビーマッサージクラス



ベビーマッサージは、早期においては母児のアタッチメント、愛着形成に役立ち、長期的には、協調性・社会性にすぐれた子どもの成長に役立つと言われています。当院でもその効果に着目し、助産師を中心に認定資格取得等の準備をすすめ、2013年7月中旬にベビーマッサージクラスを開設しました。

●対象者：当院で出産された、分娩後4ヶ月以降のお母さまとお子さま

●開催日時：毎月第4月曜日 13：30～15：30

●費用：1回500円（税込）

●講師：4西病棟助産師（日本アタッチメント協会資格取得者）

●申込み：完全予約制（1クラス6名程度）

詳しくは4西病棟スタッフにご相談ください。

この時期は新しい家族を迎えて育児に少し慣れたお母さまが、社会生活を送る上で孤独を感じやすくなる時期でもあります。ベビーマッサージクラスを受講していただくことで、他のお母さまとのコミュニケーションを図りながらストレス解消を図ることも目的としています。

このベビーマッサージは助産師が主体的に関わりますが、病棟での退院後の電話訪問では、助産師、看護師が協力しながら、退院後の育児不安、授乳相談に対応しています。

3D/4Dエコーの動画の提供開始



フルカラーの動画映像をご提供いたします。撮影した日にエコーの動画をお渡しすることにより、お腹の中の赤ちゃんの様子をご家族でお楽しみいただけます。

バラの模様を背景にしたオリジナルDVDを、妊婦検診の際希望者の方に提供いたします。

●対象：当院で妊婦健診を行っている方

●費用：525円（税込）



3D/4Dエコー



動画DVD

松下記念病院ボランティア活動

●院内ボランティアが活動しています

平成20年9月より松下記念病院・松下老人介護保健施設は一とぴあでは、患者さまおよびご利用者さまに、きめ細かなサービスの提供を目的として、ボランティア活動を始めました。たくさんのボランティアの方々がエプロンのユニフォーム姿で活動しています。



笑いは病を治す力となります。少しでも患者さまに笑顔でお過ごしいただければと思い、病院内のイベントにも参加しています。

患者さまの笑顔が私たちにやりがいや充実感をもたらしてくれます。

**私たちと一緒にボランティア活動をしてみませんか。
あなたの特技を必要とする人がいます。**

私たちボランティアは、患者さまの受診サポートを主に行っており、正面玄関で皆さまをお迎えしています。

- 同伴者がなく1人でお困りの方
- 初めての来院でお困りの方
- 移動にお困りの方

など気軽にお声かけください。
皆さまに安心していただけるよう、
お手伝いさせていただきます。



活動実績

開始より平成23年4月まで、
総員25名のボランティアの方が
延べ702(回)の活動をしています。

ボランティア活動に興味のある方は
下記にお問合わせ下さい。

お問
合せ
先

ホームページまたは下記へ問い合わせ下さい。
松下記念病院ボランティア担当者 山口
Tel. 06-6992-1231 (代表)